



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第33号

令和6年2月2日

(発行者) 佐古 達哉

♪ 生徒の「思い」が、いっぱいです！

今週の水曜から金曜まで、1年生の学年運営委員会の子たちや、第31号の「学校だより」で紹介をした校長室を訪ねてくれた3名の生徒が力を合わせて、生徒の登校時間に合わせて、元日に発生した「能登半島地震」の募金活動を実施してくれました。元々は、先週募金活動を実施する予定をしていましたが、2年生に学級閉鎖があったため、「みんなの思いをきちんと集めたい」ということで、1週間遅らせて活動をしてくれました。寒い中でがんばって活動をする1年生の呼びかけに応えるかのように、被災地の復旧・復興を願って多くの仲間が募金に協力する様子が見られ、今回の活動を計画・実行してくれた1年生のがんばりのおかげで、全校の「絆」を感じる素敵な活動になりました。みんなの温かい「思い」が、被災された方々に、少しでも力になることを願わずにはられません。

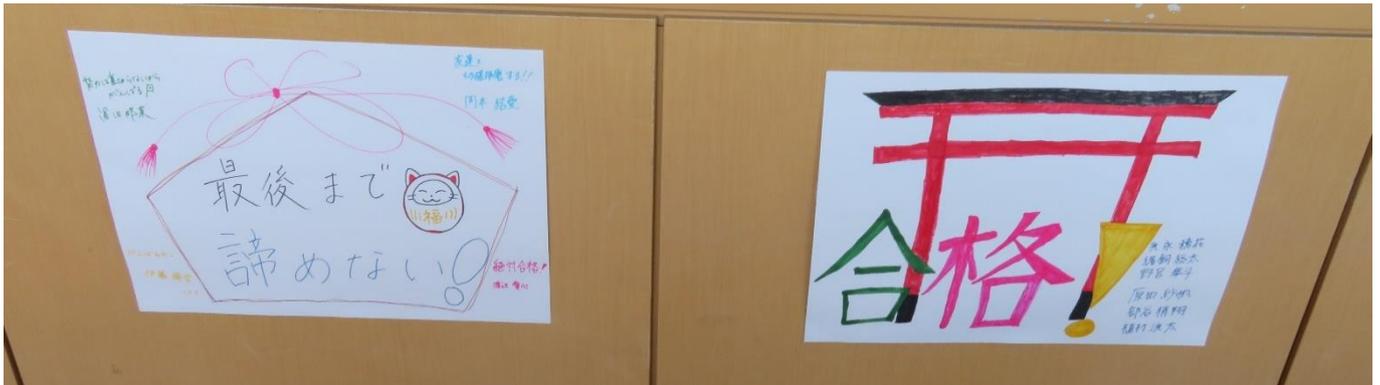


廊下のあちこちには、「学校生活がより良いものに」なることを願って2年生が美術の時間に作成した「ピクトグラム」が掲示されています。ユニークなそれぞれのデザインに込められた、生徒の素敵な願いが校舎内を温かい雰囲気してくれています。



【次のページもあります】

3年生の廊下には、2週間前に行われた私立高校・専修学校の「推薦入試」、そして先週の火曜～木曜まで行われた私立高校・専修学校の「一般入試」に向けた切実な願い・思いに満ちた掲示物もあります。



早くも「暖冬」と言われているこの冬としては冷え込みが厳しくなった1月下旬でしたが、学校のあちこちに広がる生徒の温かい「思い」あふれる様子に、学校で生活するみんなの心もじんわりと温くなる感じがします。能登半島地震が起きた1月1日の元日がつい先日のような気もしますが、気付けば早くも2月。この週末には「立春」を迎え、暦の上では春へと向かう時期に移行します。お時間がある時には、ぜひ「学校公開」を活用して、ステップアップの「春」に向かいつつある学校・生徒の様子を見に、気軽に足をお運びいただきますよう、お願いいたします。

♪ 愛西市「生徒会サミット」が開かれました

29日（月）の授業後には、生徒会の代表生徒3名が市役所で開かれた「生徒会サミット」に参加をしました（31日（水）の中日新聞にも、会の様子が掲載されていました）。



市内6中学校の代表生徒がグループに分かれて、各学校の生徒会の取組を紹介し合い、お互いに「よい刺激」となっていたようです。こういった経験を通じて、生徒による「自治活動」の意識がより高まって、生徒の手による学校づくりがますます深まってくれたらと願います。今後の生徒会の、さらなる活躍を楽しみにしています！！